

規則

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和六年三月十九日

埼玉県知事 大野 元裕

埼玉県規則第六号

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の一部を改正する規則
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則（昭和四十二年埼玉県規則第六十二号）の一部を次のように改正する。

第四条第一項中「又は」を「、第四十条の五第一項又は」に改める。

第五条中「又は第三十八条の七第二項」を「、第三十八条の七第二項又は第四十条の五第一項」に改める。

第十三条を次のように改める。

（医療保護入院者の入院届等）

第十三条 法第三十三条第九項の規定による届出は、次の各号に掲げる届出の区分に応じ、当該各号に定める書類により行うものとする。

一 法第三十三条第一項の規定による入院措置に係る届出 様式第十五号の入院届及び様式第十七号の同意書

二 法第三十三条第二項の規定による入院措置に係る届出 様式第十五号の入院届及び市町村長からの同意書

三 法第三十三条第三項後段の規定による入院措置に係る届出 様式第十六号の入院届及び様式第十七号の同意書又は市町村長からの同意書

四 法第三十三条第六項の規定による入院の期間の更新に係る届出 様式第十七号の二の更新届及び様式第十七号の三の同意書又は市町村長からの同意書

第十五条中「第三十三条の七第五項」を「第三十三条の六第五項」に、「措置」を「入院措置」に改める。

第十六条中「し、同条第二項において準用する同条第一項の規定による報告は様式第二十二号の医療保護入院者の定期病状報告書により行うもの」とを削り、同条の次に次の一条を加える。

（措置入院決定報告書）

第十六条の二 法第三十八条の三第一項の規定による通知（法第二十九条第一項の規定による入院措置に係るものに限る。）は、様式第二十二号の措置入院決定報告書により行うものとする。

様式第五号 (表) 中

2	放	火	A	B
3	強	盗	A	B
4	制	交	A	B
5	制	わ	A	B
6	傷	い	A	B
7	暴	害	A	B
8	恐	行	A	B
9	脅	喝	A	B
10	窃	迫	A	B
11	器	盗	A	B
12	損	物	A	B
13	失	又	A	B
14	火	は	A	B
15	侵	宅	A	B
16	詐	入	A	B
17	欺	の	A	B
18	等	な	A	B
19	問	行	A	B
20	題	動	A	B
21	的	図	A	B
22	な	殺	A	B
23	問	図	A	B
24	題	殺	A	B
25	的	図	A	B

2	放	火	A	B
3	強	盗	A	B
4	制	性	A	B
5	交	意	A	B
6	同	わ	A	B
7	等	い	A	B
8	傷	せ	A	B
9	暴	つ	A	B
10	恐	害	A	B
11	脅	行	A	B
12	窃	喝	A	B
13	器	迫	A	B
14	損	盗	A	B
15	物	壊	A	B
16	又	は	A	B
17	火	入	A	B
18	失	の	A	B
19	家	等	A	B
20	宅	な	A	B
21	侵	行	A	B
22	詐	動	A	B
23	欺	図	A	B
24	等	傷	A	B
25	問	他	A	B
26	題	の	A	B
27	的	そ	A	B
28	な	の	A	B
29	問	他	A	B
30	題	の	A	B
31	的	他	A	B

16 自
17 そ
()

傷
の
他
)
A A
B B

を

に

以上のとおり診断する。

精神保
署名

以上のとおり診断する。

健指定医氏名

年 月 日

を

精神保健指定医氏名

年 月 日

に改め、同様式(裏)記載上の留

署名

(指定医番号:)

意事項4中「問題行動の欄」や「重大な問題行動の欄」に改めらる。

様式第六号(表)中「強制性交等」や「不同意性交等」及び「強制わいせつ」を

「不同意わいせつ」に改め、同様式(裏)記載上の留意事項3を削り、同様式の記

載上の留意事項4中「問題行動の欄」や「重大な問題行動の欄」に改め、同様式(裏)

記載上の留意事項4を同様式(裏)記載上の留意事項3とし、同様式(裏)記載上

の留意事項中5を4とし、6から8を1から10とします。

様式第十五号（表） 中

家族等の同意により入院した年月日	年 月 日	今回の	
		入院年月日	
入院形態	入院形態	入院形態	

年 月 日	家族等の同意により入院した年月日			年
年 月 日	年 月 日	年 月 日	今回の入院年月日	
年 月 日	年 月 日	年 月 日	今回の医療保護入院の入院形態	

月 日	入院を必要と認められた氏名		署名
月 日	入院を必要と認められた氏名		署名

入院を必要と認められた氏名	署名
入院を必要と認められた氏名	署名
精神保健指定医氏名	
選任された退院後生活環境相談員氏名	

改め、同様式（裏）記載上の留意事項2を「貴院」を「貴病院」に改め、同様式（裏）記載上の留意事項中11を12とし、3から10を1から11ととし、2の次に次のように加える。

3 今回の医療保護入院の入院満了年月日の欄は、家族等の同意により入院した日から3月を上限とした年月日を記載すること。

様式第十七号中「同意書」を「医療保護入院に関する家族等同意書」に改め、同様式の次に次の二様式を加える。

様式第17号の2 (第13条関係)

(表)

医療保護入院者の入院期間更新届

年 月 日

(宛先)

埼玉県知事

病院名
所在地
管理者名

医療保護入院者	フリガナ			生年月日	年 月 日 (満 歳)
	氏名	(男・女)			
	住所				
医療保護入院年月日 (第33条第1項又は第2項による入院)	年 月 日	今 回 の 入 院 年 月 日	年 月 日		
		入 院 形 態			
入 院 届 又 は 前回の入院期間更新届 で の 入 院 期 間	年 月 日	本更新後の 入 院 満 了 年 月 日	年 月 日		
	～ 年 月 日				
病 名	1 主たる精神障害	2 従たる精神障害	3 身体合併症		
	ICDカテゴリー()	ICDカテゴリー()			
入院又は前回更新日からの 治療の内容と、その結果 (更新前の入院期間に係る 病状又は状態像の 経過の概要)					
症 状 の 経 過	1 悪化傾向 2 動揺傾向 3 不変 4 改善傾向				
<現在の精神症状>	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他()				
	II 知能(軽度障害、中等度障害、重度障害)				
	III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他()				
	IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他()				
	V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他()				
	VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他()				
	VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他()				
	VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他()				
	IX 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他()				
	<その他の重要な症状> 1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存() 4 その他()				
<問題行動等>	1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他()				

<現在の状態像>	1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ()			
医療保護入院の必要性 (患者自身の病気に対する理解の程度を含め、任意入院が行われる状態にないと判断した理由について記載すること。)				
今後の治療方針(患者本人の病識や治療への意欲を得るための取組等を含む。)				
本更新に係る診察の年月日	年 月 日			
更新が必要と診断した精神保健指定医氏名	署名			
退院に向けた取組の状況 (選任された退院後生活環境相談員との相談状況、地域援助事業者の紹介状況、医療保護入院者退院支援委員会での審議内容等について)	医療保護入院者退院支援委員会での審議が行われた年月日 (年 月 日)			
今回の更新の直前の入院又は更新に同意をした家族等	氏名	(男・女)	続柄	生年 年 月 日生
	住所	(男・女)	続柄	月日 年 月 日生
	1 配偶者 2 父母(親権者である・ない) 3 祖父母等 4 子・孫等 5 兄弟姉妹 6 後見人又は保佐人 7 家庭裁判所が選任した扶養義務者(選任年月日 年 月 日) 8 市町村長			
今回の更新に同意をした家族等 (上記の家族等と同じ場合は記載不要)	氏名	(男・女)	続柄	生年 年 月 日生
	住所	(男・女)	続柄	月日 年 月 日生
	1 配偶者 2 父母(親権者である・ない) 3 祖父母等 4 子・孫等 5 兄弟姉妹 6 後見人又は保佐人 7 家庭裁判所が選任した扶養義務者(選任年月日 年 月 日) 8 市町村長			
法第33条第8項の規定に基づき家族等の同意を得たものとみなした場合は、その旨等	<input type="checkbox"/> 法第33条第8項の規定に基づき、家族等の同意を得たものとみなした			
	家族等へ通知を發した日		年 月 日	
	家族等に示した回答期限		年 月 日	
(回答期限は、通知を發した日から2週間を経過した日であることに留意) 通知をした家族等との連絡等の記録(直近2件) 年 月 日 (<input type="checkbox"/> 面会 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他 ()) 年 月 日 (<input type="checkbox"/> 面会 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他 ())				
審査会意見				
都道府県の措置				

(裏)

記 載 上 の 留 意 事 項

- 1 内は、今回の更新にあたって行われた精神保健指定医の診察に基づいて記載すること。
- 2 今回の入院年月日の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、入院形態の欄にそのときの入院形態を記載すること（特定医師による入院を含む。その場合は「第33条第1項・第3項入院」、「第33条第2項・第3項入院」又は「第33条の6第2項入院」と記載すること。）。なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。
- 3 本更新後の入院満了年月日の欄は、医療保護入院者退院支援委員会で審議された入院期間に留意した上で、当該医療保護入院から6月を経過するまでの間は3月、入院から6月を経過した後は6月を上限とした期限を定めて記載すること。
- 4 現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像の欄は、一般にこの書類作成までの過去数か月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 5 更新が必要と診断した精神保健指定医氏名の欄は、精神保健指定医自身が署名すること。
- 6 退院に向けた取組の状況の欄については、今回の更新にあたって医療保護入院者退院支援委員会の審議が行われた年月日を記載すること。また、令和5年11月27日付障発1127第7号「措置入院者及び医療保護入院者の退院促進に関する措置について」（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）の別添様式2「医療保護入院者退院支援委員会審議記録」の写しを添付すること。その上で、
 - (1) 退院後生活環境相談員との最初の相談を行った時期やその後の相談の頻度等
 - (2) 地域援助事業者の紹介の有無や紹介した地域援助事業者との相談の状況等
 - (3) 医療保護入院者退院支援委員会での審議内容等について記載すること。
- 7 同意をした家族等の氏名の欄は、親権者が両親の場合はいずれも記載すること。
- 8 同意をした家族等の住所の欄は、親権者が両親で住所が異なる場合はそれぞれ記載すること。
- 9 法第33条第8項の規定に基づき、家族等の同意を得たものとみなす場合は、「法第33条第8項の規定に基づき、家族等の同意を得たものとみなした」にレ点を入れることとし、同意書の添付は不要であること。ただし、法第33条第6項による入院の更新に関する同意の通知をした時から更新するまでの間に、当該通知に係る家族等が、
 - (1) 法第5条第2項に規定する家族等に該当しなくなったとき
 - (2) 死亡したとき
 - (3) 意思を表示できないときのいずれかの事由に該当すると把握した場合には、同意を得たものとみなすことができないことに留意すること。また、同意を得たものとみなす場合は、通知をした家族等との連絡等の記録（直近2件）の欄に、直前の入院期間中、通知をした家族等と直近2回の連絡を取った際の年月日及び手段について記載すること（通知をした家族等が親権者の両親である場合は、父又は母のいずれかと直近2回の連絡を取った際の年月日及び手段について記載すること。）。
- 10 今回の更新に同意をした家族等の欄に記載がある場合は、法第33条第8項による同意を得たものとみなさないことに留意すること。
- 11 選択肢の欄は、それぞれ該当する算用数字、ローマ数字等を○で囲むこと。

様式第二十号（表）中「第33条の7第2項」や「第33条の6第2項」に添付する。

様式第二十一号（表）中

病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー()
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科受診歴等を記載すること。〕		
初回入院期間 前回の入院期間 初回から前回の入院回数	年 月 日～ 年 月 日 回	年 月 日(入院形) 年 月 日(入院形) 回
	(陳述者氏名)	

3 身体合併症

病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー()	3

続柄)
態)
態)

「 処遇、看護及び 指導の現状 及び状態」	隔離		
	注意必要度の日常生活の指導性	多用 i 常に嚴重な注意 ii 随時一応の注意 iii 比較的簡単な介 生活指導を要する	ほとんど不要 i 極めて手間のかかる介 生活指導を要する ii 比較的簡単な介 生活指導を要する iii その他()

「 処遇、看護及び 指導の現状 及び状態」	隔離		
	注意必要度の日常生活の指導性	多用 i 常に嚴重な注意 ii 随時一応の注意 iii ほとんど不要	ほとんど不要 i 極めて手間のかかる介 生活指導を要する ii 比較的簡単な介 生活指導を要する iii その他()
退院に向けた取組の状況 (選任された退院後生活環境相談員との相談状況、地域援助事業者の紹介状況等について)	日常生活の指導性 必要	選任された退院後生活環境相談員(地域援助事業者からの求め又は必要性の有無(あり・なし)) 本人や家族等からの求め又は必要性の有無(あり・なし) 上記で「あり」の場合の紹介状況()	

ほとんど不要
助と指導)

「強制性交等」や「不同意性交等」

「強制性交等」や「不同意性交等」に改め、同様式(裏)記載上の留意事項3を次のように改める。

- 3 退院に向けた取組の状況の欄については、退院後生活環境相談員との最初の相談を行った時期やその後の相談の頻度等や、地域援助事業者の紹介の有無や

紹介した地域援助事業者との相談の状況等について記載すること。

様式第二十一号（裏）記載上の留意事項中4から6までを削り、同様式（裏）記載上の留意事項7中「問題行動の欄」を「重大な問題行動の欄」に改め、同様式（裏）記載上の留意事項7を同様式（裏）記載上の留意事項4とし、同様式（裏）記載上の留意事項中8を5とし、9を6とし、同様式（裏）記載上の留意事項10中「経過」を「経過」に改め、同様式（裏）記載上の留意事項10を同様式（裏）記載上の留意事項7とし、同様式（裏）記載上の留意事項中11を8とする。

様式第二十二号を次のように改める。

様式第22号（第16条の2関係）

措置入院決定報告書

年 月 日

埼玉県精神医療審査会 様

埼玉県知事

下記の措置入院者について、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の3第1項の規定により通知します。

申請等の形式	i 親族又は一般人申請（第22条） ii 警察官通報（第23条） iii 検察官通報（第24条） iv 保護観察所長通報（第25条） v 矯正施設長通報（第26条） vi 精神科病院管理者届出（第26条の2） vii 医療観察法対象者 [指定通院医療機関管理者通報、保護観察所長通報]（第26条の3） viii 都道府県知事・指定都市市長職務診察（第27条第2項）		
措置入院中の精神科病院	名称		
	所在地		
措置入院者（精神障害者）	フリガナ		生年 月 日 年 月 日生 (満 歳)
	氏名	(男・女)	
	住所		
措置診察を行った年月日及び精神保健指定医の氏名	精神保健指定医氏名	(指定医番号：)	年 月 日
措置診察を行った年月日及び精神保健指定医の氏名	精神保健指定医氏名	(指定医番号：)	年 月 日
法第29条の2の2第1項の規定による移送の有無(措置診察後の移送の有無)	i あり ii なし		

記載上の留意事項

- 1 選択肢の欄は、それぞれ該当するローマ数字を○で囲むこと。
- 2 法第27条第1項又は第2項に基づき行われた精神保健指定医による診察の判定内容（病名及び症状を含む。）については、該当する診察の際に作成された「措置入院に関する診断書（様式第5号）」を添付すること。

附 則

- 1 この規則は、令和六年四月一日から施行する。
- 2 この規則による改正前の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則に定める様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。